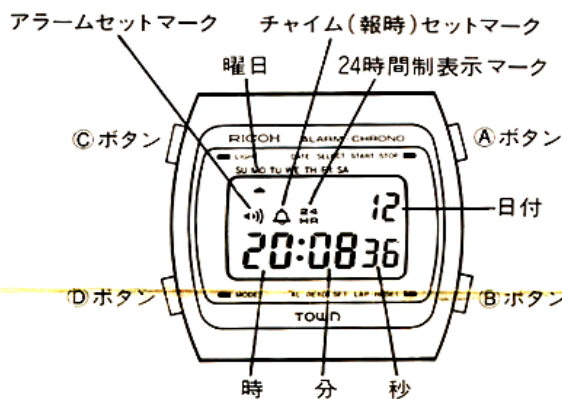


# 取扱説明書 831型 完成品

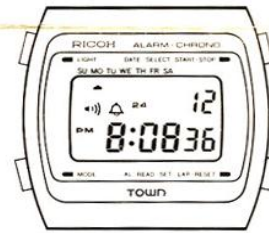
## [1] 特 徴

- |              |                                  |
|--------------|----------------------------------|
| 1 表示         | 機能マークの点灯により、それぞれの機能がセット中であることを示す |
| 2 アラーム機能     | セット時刻になると約15秒間なります               |
| 3 ストップウォッチ機能 | 1/100秒計測で最大12時間まで計測できます          |
| 4 チャイム(報時)機能 | 毎正時(00分00秒)毎に チャイムがなります          |
| 5 オートカレンダー   | 2月は28日制ですので、うるう年のみ修正             |
| 6 12・24時間表示  | 12時間制、24時間制表示切換                  |
| 7 テストアラーム    | アラーム音の試聴ができます                    |
| 8 30秒振り分け    | 30秒振り分けリセットが可能                   |
| 9 内部照明付      | 内蔵ランプが点灯し 暗い所でも時刻を始め 機能を確認できます   |

## [2] 外観と時刻合せ概略案内



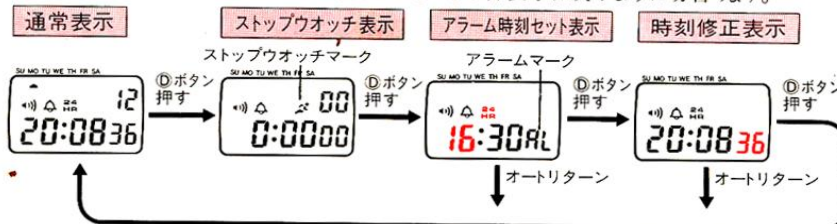
- 通常表示の状態で20時8分36秒  
12日、月曜日を示します。
- 24時間制表示マーク(24)は、  
24時間制にした時表示し、12時間制にすると消えます。  
12時間制にした時は、午後のみPM表示されます。  
(午前は表示しません)



12時間制表示

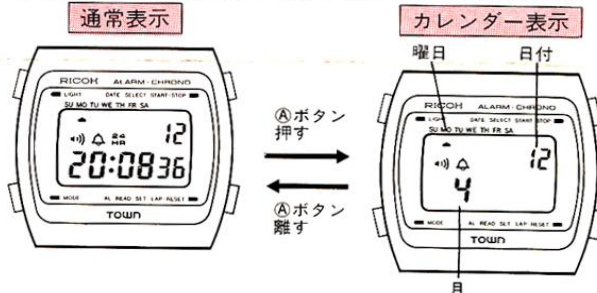
### (2) 表示の切替(スイッチボタンの操作)

- ① 通常表示においてDボタンを押すことにより各表示は次のように切替ります。



- オートリターン(自動復帰): その表示の状態のまま1~2分たつと通常表示へ自動的に戻ります。

- ② 通常表示においてAボタンを押すとカレンダー表示となり離すと通常表示に戻ります。



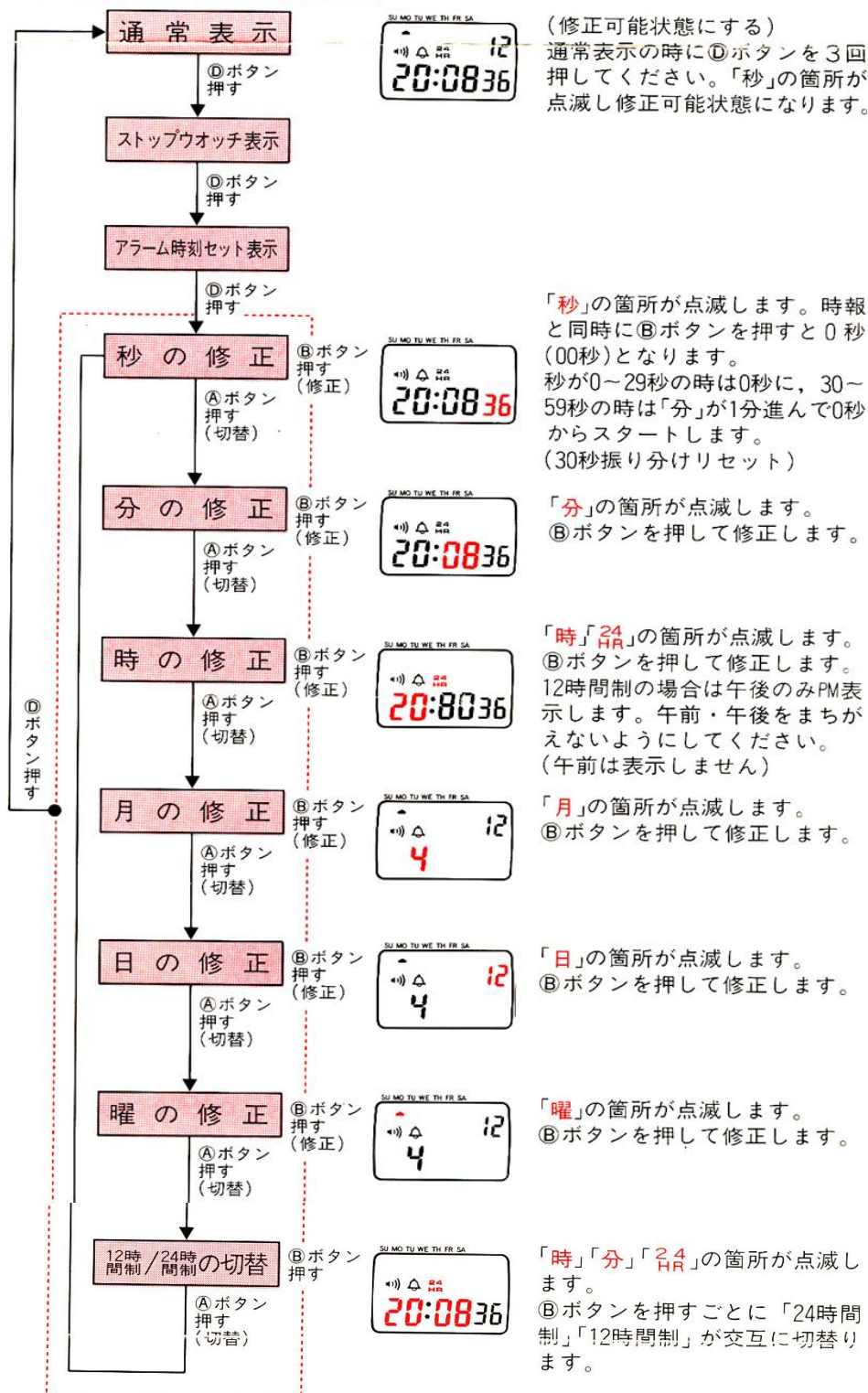
- 4月12日月曜日を示します。

- ③ 通常表示においてBボタンを押すとアラームセット時刻表示となり離すと通常表示に戻ります。



- アラームのセット時刻は、16時30分を示します。

### (3) 時刻、カレンダーの合わせ方



- 修正可能状態において②ボタンを1回押すと数が「1」進み、③ボタンを押すにつけると早送りされます。
- 修正後①ボタンを押すと、どの修正状態からでも通常表示に戻ります。

#### (4) ストップウォッチの見方と操作方法

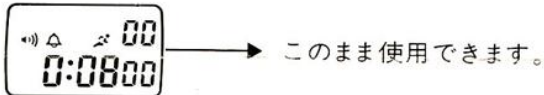
通常表示から① ボタンを押すとストップウォッチ表示となります。(  マーク点灯)



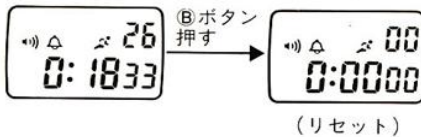
- ストップウォッチは、23分18秒51を示します。
- ストップウォッチマーク(  )は、ストップウォッチ作動中の時は点滅し、ストップの時は点灯します。
- LAP表示は、ラップ及びラップストップの時点灯します。

ストップウォッチを使用する時はリセット状態にして使用してください。

##### ● リセット



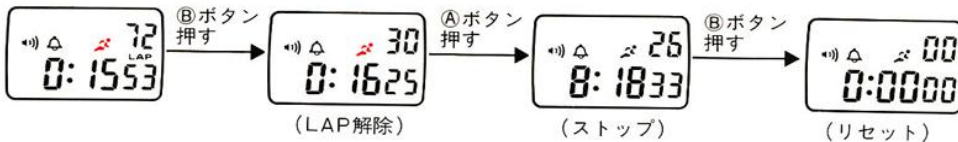
##### ● ストップ(数字が止っている)



##### ● 作動中(数字が動いている)

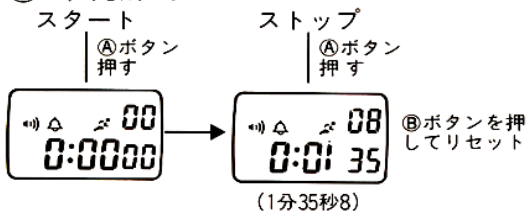


##### ● LAP(途中経過時間)状態

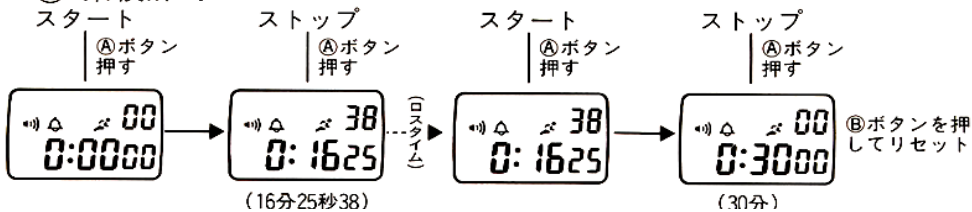


#### ● ストップウォッチの用法

##### ① 単純計測



##### ② 累積計測





③ アラーム音の止め方

アラーム音を途中で止めたい時は④ ⑤ ⑥ ボタンのいずれかを押せば止まります。

④ アラーム音の試聴方法

通常表示で④ ⑤ ボタンを同時に押すとアラーム音を試聴できます。